

## 平成 30 年度ジャパンリンクセンター運営実績

平成 31 年 3 月 31 日

ジャパンリンクセンター運営委員会

### 1. 委員会、分科会、メンバーミーティングの主宰、招集、事務<sup>1)</sup>

#### (1) ジャパンリンクセンター運営委員会

ジャパンリンクセンター運営委員会を合計 3 回開催した。また、その議事要旨をジャパンリンクセンターの web サイトで公表した<sup>2)</sup>。

#### (2) メンバーミーティング

平成 31 年 2 月 7 日にメンバーミーティングを開催した。

### 2. サービスの開発、運用および管理<sup>3)</sup>

#### (1) サービスの開発

次の開発を行った。

表 1. 平成 30 年度の新規開発項目

項番	開発・検討項目	内容
1	次期 JaLC システムの開発に向けた検討	次期 JaLC システムの開発に向けた検討
2	機能改修	①システム基盤の移行 JaLC が利用しているシステム基盤のハードウェア保守が平成 30 年度にて終了するため、新ハードウェア (JST 共通 IT 基盤) に移行を行う。3 月 23 日 (土) ~24 日 (日) に切り替え作業を行う。 ②Crossref および DataCite のメタデータスキーマ拡張への対応 スキーマ拡張に対応し機能改修を実施した。 <Crossref> スキーマ定義名称を最新バージョンとするが、Crossref ヘドポジット (送付) もしくはレスポンス (応答) 取り込みのメ

<sup>1)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項4号

<sup>2)</sup> ジャパンリンクセンターweb サイト 「JaLC について」 > 「JaLC 運営委員会」  
([https://japanlinkcenter.org/top/about/index.html#about\\_committee](https://japanlinkcenter.org/top/about/index.html#about_committee))

<sup>3)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項2号

		<p>タデータ項目には変更はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタデータデポジットスキーマをバージョン 4.4.1 とする（リリースは 2019 年度第 1 四半期を予定）。</li> </ul> <p>&lt;DataCite&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メタデータデポジットスキーマをバージョン 4.1 とする（リリースは 2019 年度第 1 四半期を予定）。</li> <li>・言語属性がない項目については、一つの要素を複数言語で表している場合、異なる複数の要素があると解釈されることがあるため、英語のみ送付するよう改修した。</li> </ul> <p>③デポジット機能の改修</p> <p>デポジット結果確認を非同期で行うことも選択できるように機能改修を行い、平成 31 年 1 月 16 日に公開した。</p> <p>API を使用してコンテンツ登録を行う場合に、受付処理と後続のシステム搭載処理を分け、受付処理完了時点で登録者に対しレスポンス（応答）することで、レスポンスまでの時間を短縮できるようにした。ただし、システム搭載結果は別途、照会（API または画面）する必要がある。従来の受付処理と後続のシステム搭載処理を一貫して行いレスポンス（応答）することも選択できる。</p> <p>④検索サービスの開発</p> <p>(ア) DOI で問合せを行い、該当するコンテンツのメタデータを取得できる「DOI コンテンツ検索」機能を開発し、平成 30 年 11 月 29 日に公開した。</p> <p>(イ) メタデータにより DOI を検索できる画面を作成した。リリースは、2019 年度第 1 四半期を予定している。</p> <p>⑤DOI Citation Formatter の提供開始</p> <p>DOI を検索することで、各種引用形式に整形されたメタデータを得られる DOI Citation Formatter を平成 30 年 10 月 10 日に公開した。</p>
--	--	---

## (2) 運用

システム運用、ユーザサポート業務は、過年度に引き続き外部に委託して実施した。

### 3. DOI 登録機関業務<sup>4)</sup>

#### (1) 入会対応等

過年度に引き続き、正会員の入会対応および準会員への DOI prefix の払い出しを行った。その結果、会員数、DOI 登録件数は、表 2 のとおりとなった。

表 2. 会員数および DOI 登録件数の推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度(P)
正会員数 (機関)	21	25	29	37	43
準会員数 (機関)	944	1,131	1,518	1,814	2,024
DOI 登録件数 (件) (種別毎の内訳)	3,023,504	3,189,377	3,457,584	5,330,029	8,129,111
・ 論文	2,789,095	2,937,916	3,193,160	4,941,494	6,677,602
・ 書籍、報告書	234,409	248,488	261,175	309,559	1,315,330
・ 研究データ	-	1,545	1,719	75,875	132,846
・ e ラーニング	-	1,427	1,520	1,891	2,089
・ 汎用データ	-	1	10	1,210	1,244

- ・ 正会員数、準会員数とも堅調な伸びを示している。正会員は公的研究機関、医学系の学会、民間出版社など多彩な機関で構成されており、また準会員は J-STAGE 参加学協会や、大学機関リポジトリ等から構成されている。
- ・ 各会員による DOI 登録が着実に進んでいる。平成 30 年度の大口の登録例としては、国立国会図書館デジタルコレクション約 230 万件、J-STAGE 利用学会の論文等約 36 万件、機関リポジトリに登録された論文等約 9 万件、正会員である医学中央雑誌刊行会が取り纏める医学系学術論文出版社の論文等約 5 万件への DOI 登録があった。

<sup>4)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項1号

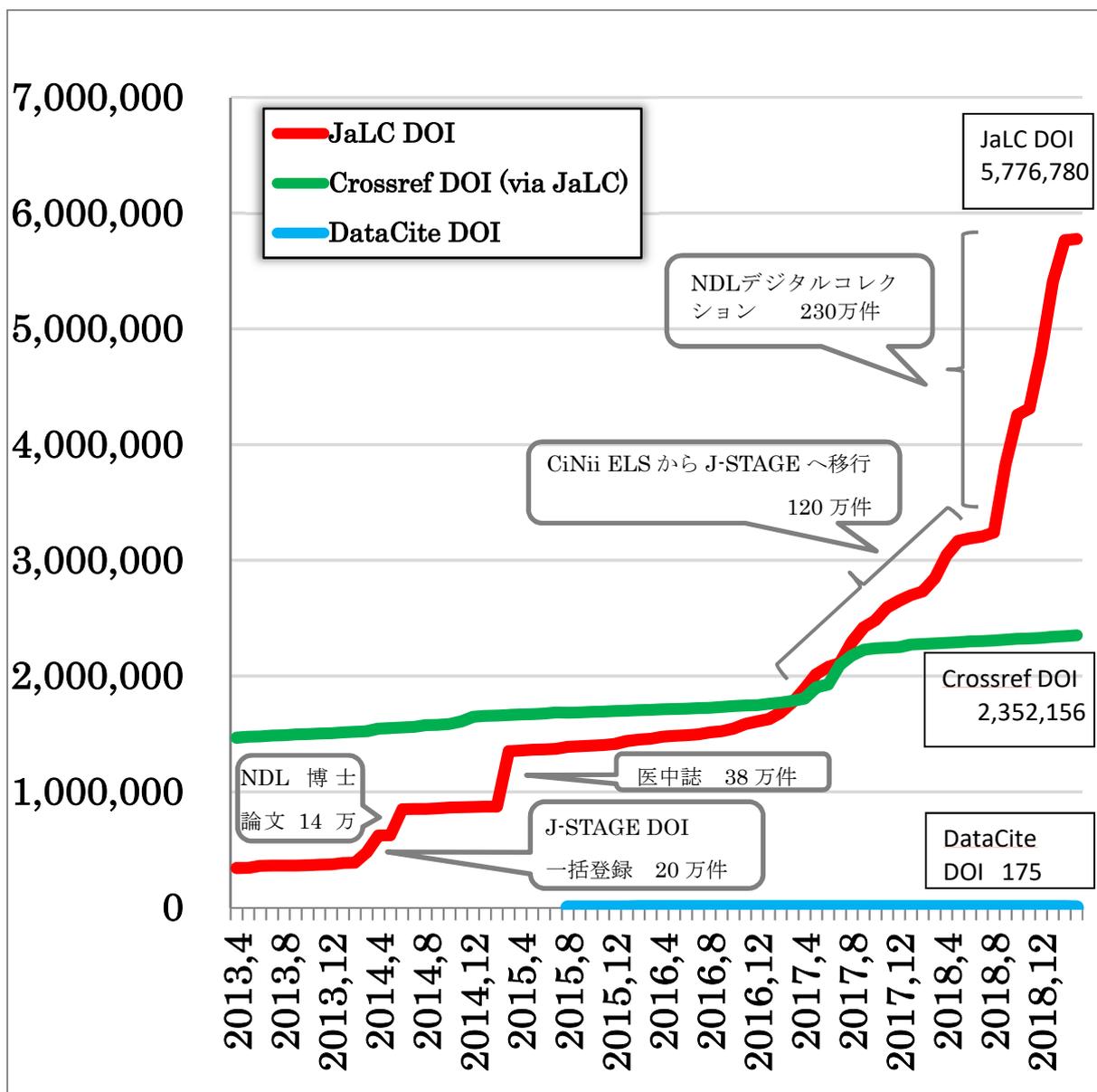


図 1. DOI 登録件数の推移

## (2) 入会説明会の開催

これまで、正会員の入会希望の申し出を受けて、個別に入会説明やデータ登録デモを行ってきた。昨年度から入会説明会を開催し入会対応業務の効率化を図っている。説明会の終了後には、個別相談会も開催した。

#### 4. その他、JaLC の運営に関する一切の事務<sup>5)</sup>

##### (1) メタデータのオープン化

JaLC では、平成 29 年 3 月に策定した「ジャパンリンクセンター ストラテジー2017-2022」の中で「DOI やメタデータがオープンに活用されることを推進します」と定められたことに従い、メタデータをオープン化することが決定された。

##### (2) DataCite とのメタデータ連携の見直し

DataCite への DOI 登録の際、DataCite に言語属性がないことから一部エレメント (Creator、Affiliation、Publisher、Contributor) は JaLC にて情報を削除し送信しているが、今後は英語および日本語を選択的に送付することとする。

##### (3) JaLC への入会申し込み単位の規模について

JaLC への入会申し込み単位の規模については、「ジャパンリンクセンター入会の手引き」に具体的な例を記載した。

##### (4) DOI Citation Formatter および DOI コンテンツ検索サービスの提供開始

平成 30 年 10 月 10 日から DOI を検索することで、各種引用形式に整形されたメタデータを得られる DOI Citation Formatter を公開した。さらに、同年 11 月 29 日にメタデータを取得する際に DOI を指定してリクエストすると、システム側がリクエストの形式に合わせてメタデータを返す DOI コンテンツ検索サービスの提供を開始した。

##### (5) 普及・広報

表 3 のとおり外部発表を行い DOI の普及・広報を行った。

表 3. 平成 30 年度の普及・広報

1	Japan Open Science Summit (JOSS) 2018 (平成 30 年 6 月 18 日、19 日)
2	ジャパンリンクセンター「対話・共創の場」(第 5 回) (平成 31 年 2 月 7 日)
3	RDUF 公開シンポジウム ～オープンサイエンスを巡る世界の最新動向～ (平成 31 年 2 月 18 日)
4	デジタルアーカイブ学会 (平成 31 年 3 月 15、16 日) (口頭発表)「デジタルコンテンツへの DOI 付与のすすめ 日本をつなぐ～アクセスをいつまでも～」

— 以 上 —

<sup>5)</sup> ジャパンリンクセンター運営規則第2条2項5号